

2010年 JCGIndex が 50 点以上の会社

順位	前回 順位	JCG Index	企業名
1	2	80	ソニー株式会社
2	2	78	スミダコーポレーション株式会社
3	6	77	株式会社ニッセンホールディングス
3	2	77	株式会社大和証券グループ本社
5	9	75	オムロン株式会社
6	1	74	株式会社 東芝
7	8	72	株式会社パルコ
8	18	71	いちよし証券株式会社
8	7	71	帝人株式会社
8	11	71	エーザイ株式会社
8	20	71	株式会社リコー
8	—	71	オリックス株式会社
8	13	71	野村ホールディングス株式会社
14	—	69	*(1社)
15	13	68	コニカミノルタホールディングス株式会社
15	38	68	日本電産株式会社
15	38	68	三井物産株式会社
15	—	68	株式会社オートバックスセブン
19	23	67	コスモ石油株式会社
19	56	67	TDK株式会社

順位	前回 順位	JCG Index	企業名
19	2	67	イオン株式会社
22	30	66	花王株式会社
22	9	66	株式会社りそなホールディングス
24	33	65	太陽誘電株式会社
24	13	65	三菱商事株式会社
26	23	64	東京海上ホールディングス株式会社
27	30	63	テルモ株式会社
27	—	63	*(1社)
29	—	62	大東建託株式会社
29	32	62	参天製薬株式会社
31	—	60	ライオン株式会社
31	—	60	株式会社小松製作所
31	23	60	アンリツ株式会社
31	—	60	*(1社)
35	—	59	*(1社)
36	44	58	ヤマハ株式会社
36	49	58	住友商事株式会社
36	—	58	*(1社)
39	77	57	バンドー化学株式会社
40	—	56	株式会社なとり

出所:日本コーポレート・ガバナンス研究所(ランキングデータは2010年12月7日現在)



順位	前回順位	JCG Index	企業名
40	18	56	旭化成株式会社
40	—	56	塩野義製薬株式会社
40	—	56	株式会社堀場製作所
40	—	56	**(2社)
46	77	55	東芝テック株式会社
46	49	55	株式会社アドバンテスト
46	82	55	豊田通商株式会社
49	—	54	JXホールディングス株式会社
49	91	54	凸版印刷株式会社
49	82	54	大日本印刷株式会社
52	91	53	大成建設株式会社
52	—	53	NECフィールディング株式会社
52	82	53	JSR株式会社

順位	前回順位	JCG Index	企業名
52	69	53	株式会社三菱ケミカルホールディングス
56	63	52	グローリー株式会社
56	—	52	ローム株式会社
56	69	52	三菱重工業株式会社
56	96	52	任天堂株式会社
60	61	51	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
60	49	51	中部電力株式会社
60	105	51	株式会社スズケン
63	96	50	東鉄工業株式会社
63	96	50	グンゼ株式会社
63	—	50	株式会社札幌北洋ホールディングス
63	—	50	T&Dホールディングス

※()内は公表を希望しない会社数

日本コーポレート・ガバナンス研究所 (JCGR) とは・・・

日本コーポレート・ガバナンス研究所 (JCGR) は、「グローバル化の時代にふさわしいコーポレート・ガバナンスのあり方」について共通の理解を深めることを目的とする NPO として 2003 年 4 月 1 日に発足しました。日本のコーポレート・ガバナンスの全体像を把握するために、アンケート調査により個別企業のコーポレート・ガバナンスの状態を測定した“JCGIndex”を毎年公表しています。

JCGIndex とは・・・

JCGR 内に設置したコーポレート・ガバナンス・インデクス研究会が 2002 年以降、毎年定期的に行なっているコーポレート・ガバナンス調査で、東京証券取引所第一部の全上場会社を対象に質問票 (約 50 問) を送付し、返送された回答に基づき各企業のコーポレート・ガバナンスの状態を数量化しています。

評価する際の視点 JCGR コーポレート・ガバナンス原則

- | | |
|-------------------------------|--|
| ① 株主の観点からのガバナンス | ⑥ コンプライアンス、内部統制および社会的責任等を柱とするリスクマネジメント |
| ② 明確な企業業績目標 | ⑦ 株主に対するアカウントビリティ |
| ③ 最高経営者の責任体制 | ⑧ IR 活動を通じた株主への適切な情報提供 |
| ④ 独立取締役を中心とする取締役会の存在とその経営監督機能 | ⑨ ディスクロージャーによる他のステークホルダーに対する透明性の確保 |
| ⑤ 業績目標を実現するための最高経営責任者の経営執行体制 | |

さらに、これらの事項を

- I 業績目標と経営者の責任体制
- II 取締役会の機能と構成

- III 最高経営責任者の経営執行体制
- IV 株主とのコミュニケーションと透明性

という 4 つの категорияにグルーピングして集計し、さらにこれらを集約してコーポレート・ガバナンスの状態を表す指標 JCGIndex を算出します。4 つの категорияすべてが万全であれば、JCGIndex は 100 であり、それに近いほど 0 に近づくこととなります。

本資料は日本コーポレート・ガバナンス研究所による JCGIndex 調査の結果を、同研究所からの許諾を得て複製し作成したものです。本資料は情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって、記載されている個別の企業の株式等の売買を推奨するものではありません。